



令和6年度あまっこ部会報告

令和7年5月22日

報告者：小西万弥

あまっこ部会 計6回開催

R6年4月15日

令和5年度の活動報告の共有

開催予定のフォーラムについて

障害児通所ネットワークについて

6月17日

今年度の部会長・副部会長について

フォーラム、講演内容について意見交換・検討

⇒困っている方をどう支援につなげるか、支えるか（保護者の気づきにつなげたい）

療育の大切さ、家族の関わり大切さ、その時期の大切さを伝えたい

健診で心配を抱えている保護者に向けたもの

障害の種別にとらわれずこどもの発達心理を学べる場

一緒に喜び、保護者が元気をもらって帰れるような場、人につながる場



8月19日

前回に続き、フォーラム内容について意見交換

⇒結果、開催時期、内容について再度練り直す必要があることで一致。

10月21日

事務局で整理したフォーラム内容（成果物作成）について説明

令和7年12月16日

尼崎市の資源一覧、パンフレット等や他自治体のフォーマットを確認し意見交換

⇒あまっこ部会各関係機関にも所属の内容について整理していただく

正しい機関名称も大事だがイメージしやすい記載も意識する

これを見れば各関係機関が保護者、市民へ案内できるものを目指す

保護者へもアンケートを依頼

2月17日

案を提示し意見交換を行う

すでにある「あまっこ子育てハンドブック」「あまっこ元気ブック」の内容も活用（QRコードでアクセスできるようにする）

追記した方が良い機関について意見交換

あまっこ部会事務局会議 計7回開催

令和6年4月30日

あまっこ部会の役割について再度確認

⇒尼崎のこどもの地域課題について様々な関係機関が共に考える場

5月20日 7月22日

フォーラムの構成、方向性について検討

⇒・あまっこ部会の委員皆で取り組むこと

- ・尼崎のこどもが尼崎で育っていく中で発達に不安が生じたときにどんな機関がどんなふうに関わってくれるのか紹介する
- ・相談ができるブースを設ける

9月9日

こどもに関わる各関係機関の役割を整理をしてみるが把握しきれていないことも多い

⇒それぞれの機関がどんなことをどのタイミングで相談できるのかがわかるフローチャートがあればいいのではないか？



11月18日

⇒他市のパンフレットやハンドブックを参考にしてあまっこ部会バージョンの一覧表を作成。いくしあが作成しているものをベースに他に必要な機関の情報も記載。

⇒すでに公表されている情報もあわせてQRコードで読み込めるように。

⇒一覧作成の根拠として親の会の協力を仰ぎアンケートを依頼。

令和7年1月20日

保護者アンケートよりわかりにくいものベスト3

⇒①発達の相談②福祉・教育について③教育（学校・幼稚園・保育所・特別支援）

⇒市民へわかりやすく発信するために

- ・表記に一言説明を加えたり、具体的な注釈を入れる

3月17日（フロー図ワーキング）

親の会情報、委託相談支援事業所、18歳以降のサービスや制度も記載する。

あまっこファイル書き方教室・相談会

- ・令和6年11月15日（金）10時～12時

いくしあにて

参加者0名だった

- ・令和7年2月28日（金）10時～12時

いくしあにて

参加者1名（幼稚園年長児）

感想：ファイルの存在を知らなかったなので詳しく知れてよかった。

記入の具体例も教えてもらった。今後活用できたらと思う。



令和7年度の取り組みについて

- あまっこファイルについては令和6年度の書き方教室、書き方相談会の広報を学校、幼稚園へ広げたが参加者が振るわなかった。
- あまっこファイル書き方教室・相談会については今年度は実施をするかどうかも部会内で検討するが実態調査等行い、ニーズに合わせた実施やファイルの在り方を考えていく。
- 現在作成しているこどもに関わる関係機関のフロー図は完成を目指し、お披露目できる場をフォーラムとしたい。
- 医療的ケア児部会の開催